

2023 ぐすのき

VOL.34

# 樟 樹

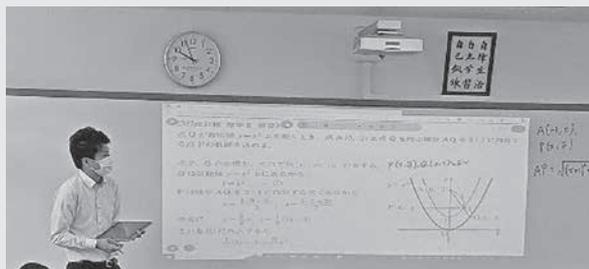
樟樹会 別居洪西島牙学校同窓会

# 校内こんなところ(こと)ご存知ですか? ● 第18回 ●

「事件は会議室で起きてるんじゃない!現場で起きてるんだよ!」とは、ドラマ「踊る大捜査線」で主人公が会議室のお偉いさんに放った有名な言葉である。教育現場を取り巻く環境がめまぐるしく変化している昨今、西高では何が起きているのか。

## 1 ホワイトボードと1人1台端末の導入

写真1は、2年生の数学Ⅱの授業の1コマ。担当教諭がパソコンを片手に、プロジェクターを使ってホワイトボードに問題を映し出し、解き方を説明している。その画面が、生徒が持つ端末にも映し出されている(写真2)。これが、今の授業風景だ。左手に教科書、右手にチョークを持ち、授業内容を説明するのはもう古い。ちなみに、本館と第一教棟のほとんどの教室はホワイトボードになっており、黒板が残っている教室はわずかである。



(写真1)



(写真2)

## 2 トイレのバリアフリー化

第1教棟1階トイレがバリアフリー化されている。入り口の段差をなくし(写真3)、奥は多目的トイレとなっている(写真4)。2階以上のトイレは残念ながら昔のままだが、生徒たちはいつもきれいに使うように心がけている。



(写真3)



(写真4)

## 3 第1教棟廊下の手洗い場の蛇口自動化

写真5を見ていただきたい。蛇口に手をかざすと、自動的に水が出てくる。これで衛生面もバッチリである。



(写真5)

令和の生徒たちはこのように、恵まれた環境の中、日々の学校生活を送っている。



「くすのき文庫」第2回贈呈式  
2022年12月1日、同窓会から学校へ100冊の文庫本の贈呈式が行われました。昨年に引き続き2度目のプレゼントです。贈呈式には、学校側からは教頭先生・図書課の先生方・各クラスの図書委員の生徒たちが出席し、妹尾同窓会会長の挨拶を受けて、図書委員の代表が感謝の意を表してくれました。  
昼読書の時間には「くすのき文庫」の本を手取る生徒も多いと聞きます。これからも同窓会は「くすのき文庫」の充実を目指し、在校生の皆さんの要望に応えたいと考えております。  
面白い本に出会うと誰かに話したくなるものです。読書の楽しみの輪をますます広げ、なりたいたい自分を目指してください。「くすのき文庫」がその一助となれば幸いです。

## 会長挨拶



樟樹会会長  
のお じろう  
妹尾 次郎  
昭和55年卒

同窓生の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、樟樹会活動に対しまして格別のご理解とご協力を賜りまして、誠に有難うございます。心より厚く御礼申し上げます。

2020年1月に国内感染が始まった新型コロナウイルス感染症は、未だ完全終息には至っておりませんが、今年5月よりインフルエンザと同様の扱いになり、それに伴い世の中の動きも徐々に以前のような状況に戻りつつあります。3年以上に亘る制約された生活によって、人々の様々な価値観が大きく変わったと思います。それまでの当たり前が当たり前ではなかったことに気づかされ、本当に大切なものは何か?という命題を突き付けられたと思います。

今年も、全日制・定時制併せて275名の後輩たちが母校を巣立ち同窓会に入会しました。彼ら彼女らは、入学後間もなく緊急事態宣言という試練に見舞われました。自宅待機やクラスを半分に分けての時間差登校、マスク越しで素顔すらわからないクラス

メートとのコミュニケーション。ある意味コロナに始まりコロナで終わった3年間でした。それにも関わらず、同窓会入会式や卒業式での自信に満ちた堂々たる姿をみて、それぞれがすべてを受け入れ、自分たちなりにできることに精一杯取り組んだ証だと思えました。今後、開催される同期会で、自分たちの経験した苦労が笑い話で語られることでしょう。

さて、同窓会本部では、コロナ禍のため昨年予定していた総会や他の事業の多くが実施できませんでした。そんな中、昨年の夏にビッグニュースが飛び込んできました。平成19年卒の高瀬隼子さんの芥川賞受賞です。発表前に発刊された会誌『樟樹』のVol.33号で「同窓生紹介」に寄稿して頂いた直後でもありました。このタイムリーな偉業に対し、同窓会としての祝意を表したいと考え、記念会館の壁面に受賞の祝幕を掲げさせて頂きました。

また、昨年の10月には近畿くすのき会が、11月には松山樟樹会がそれぞれ総会を盛大に開催されましたことは大変喜ばしい出来事でした。今年の6月4日には東日本樟樹会の総会も4年振りに開催され大いに盛り上がりました。本部でも8月5日の開催に向けて準備を進めております。是非とも多くの同窓生にご参加頂き旧交を温めてくださることを期待しております。

結びに、皆様方の一層のご健勝とご多幸を、そして母校の更なる発展を心より祈念申し上げます。

## 校長挨拶



校長  
の ゆうこ  
ひの 右子  
昭和59年卒

樟樹会の皆様におかれましては、御健勝にて御活躍のこととお喜び申し上げます。また、日頃から母校新居浜西高等学校に対して、格別の御支援・御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私は、この度着任いたしました日野右子と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。私自身、昭和59年に本校を卒業した同窓生であり、今回は創立100周年までの7年間を教諭として勤務させていただきました。当時、数々の記念事業が、皆様の絶大なる御尽力により立派に完成していったことを、今も鮮明に記憶しています。記念オブジェが設置された中庭や、整備された第2グラウンド、音楽室の新しいグラウンドピアノなどは、現在も本校生徒の教育環境充実に大いに役立っています。皆様の母校への御期待を改めて感じるとともに、私自身も微力ながら西高の発展に寄与したいと考えております。

さて、本年度は全日制に256名の新入生を迎えて3学年で787名、定時制には19名の新・編入生を迎えて4学年43名となり、全校生徒820名で

スタートしました。少子化の影響もあるとはいえ、定員を下回っていることに危機感を持ち、全県下における県立高等学校再編の流れの中で、本校が地域に期待され、信頼される学校として在り続けることができますよう、魅力ある学校づくりに一層力を入れてまいります。

昨年度10月に、全ての県立学校に定められたスクール・ミッション(期待される社会的役割、目指すべき学校像)において、本校は「一人一人の個性を伸ばし、進路実現を目指す」学校であり、その役割は「仲間と切磋琢磨できる環境を通して、生徒自らが未来を切り拓いていくための思考力・判断力・表現力、国際感覚を養い、社会の発展に貢献できる人材を育成」することとされています。その実現に向けて、卒業までに育成すべき資質・能力を「新居浜西高10GOALS」として示し、生徒の自己理解を深めながら、教育活動を進めるところです。

今春の進路状況については、国公立大学合格者が140名、うち難関大学14名と立派な成果を上げております。部活動においても、全国大会出場者をはじめ、高いレベルでの文武両道を果たす生徒が数多くおり、更なる活躍が期待されます。今後とも後輩たちへの御支援と御声援を賜りますようお願い申し上げます。

# 生

にわたり活躍されている  
するコーナーです

# 介

## Profile

昭和54年 愛媛県立新居浜西高等学校普通科 卒業  
 昭和54年 神戸女子薬科大学薬学部 入学  
 昭和58年 同 卒業  
 昭和58年～62年 調剤薬局薬剤師として勤務  
 平成9年～現在 同

～著書～

昭和56年 詩集『河へ』  
 平成8年 句集『ねむる手』  
 平成12年 『癒しの一句』田中裕明との共著  
 平成21年 句集『瞬く』（第33回俳人協会新人賞）  
 令和4年 句集『しみづあたたかさをふくむ』（第62回俳人協会賞）



もり が  
森賀 まり

## 俳句へようこそ

大学生のとき俳句を始めて、もう四十年以上になります。昨年三冊目の句集を出し、その本でこのたびややベテラン向けの「俳人協会賞」という賞をいただきました。ちなみに「森賀まり」は俳号です。旧姓をそのまま使用しています。

私は西高に入ってから俳句ではなくまず詩を書きはじめました。二つ上の姉の影響です。やはり真似をして学習雑誌への投稿も始めました。俳句は短いのでついでに投稿したら入選し、そしたら学生向けの雑誌から高校に入会案内が届いたのです。進学への期待がある時期で外への興味があつたのですね。入会しました。西高に文芸部はありませんでしたが入らなかつた。一人で書いているのが当時は好きだったのです。所属していたのは演劇部です。

演劇部は担任の先生からやんわり入部を止められたのを覚えています。二年上に鴻上尚史氏がいました。部活は楽しくておまけに詩を書くことにも熱心になってしまいました。勉強に打ち込まないまま進路を文



系に転向したあげく、親に言われて一つ受けた薬学に進みました。進学先の関西で先の雑誌の誌上の仲間とじかに出会いました。

その一人が夫となった田中裕明という俳人です。彼の誘いで俳句を再開しすぐに夢中になりました。俳句は仲間がいると格段に面白くなります。

結婚後しばらくは詩も書いていましたが、出産の後は圧倒的に時間が足りなかつた。そこへいくと俳句は細切れの間でも可能です。夫と二人句会をしながらしばらくはほそぼそと続けていました。

でも俳句は何と言つてもある程度の人数の句会が楽しいのです。そして続けたいなら定期的な句会に加わるのがいい。夫を入口に知り合った同世代の子育て中の四人に声をかけ子連れの吟行句会を始めました。吟行とは景色などを見ながらぶらぶら歩いて俳句をつくることです。お互い子連れなので毎月気兼ねなく集まることができました。その句会は子どもの手が離れそれぞれのメンバーも人生の節目を超えながら今年三二〇回を数えます。今は通信句会のための素晴らしいシステムが無償で使えるのでコロナの自粛の間も休みなく継続してきました。

一つ年上だった夫は四十五歳で白血病で亡くなりました。病気がわかる少し前には自分の俳句雑誌を始めていました。その若い死を惜しんで二〇〇七年に全句集が刊行されその後「田中裕明賞」という若い人のための俳句賞が創設されました。ともに長く俳句を続けてきた友人たちとは単純には語れない繋がりがあります。俳句と夫を通じて知り合ったそうしたかたがたには今も



(吟行仲間とともに)

ずっと支えられています。

夫は亡くなる前日まで俳句を書いていました。私が子育て中も続けられたように、俳句はそういう制限のある状況でも続けることができます。難しそうなイメージがあるかもしれませんが、私はごく身のまわりの些細なことを言葉にしてみる事が多いです。できあがった俳句から自分の心に気づくことがあります。

私の俳句との出会いは投稿が始まりでした。俳句へようこそ、とどこか遠くから声があつたように偶然に導かれました。もし興味をお持ちならルールが少なく短いのですぐ始められます。私の経験から言うと愛媛は他よりだんぜん恵まれた環境です。

### 作品紹介

ねむる手に母のほふ子どもかな  
 スケートの両手ただよひつ止まる  
 自転車に乗ればひとりや桐の花  
 さくらんぼ真赤な方をくれにけり  
 白桃や過去のよき日のみな晴れて

# 同窓

文化面、産業界など各界  
同窓生をご紹介します

# 紹介

## 人生は想定外だらけ

パニックを恐れず何でも経験させること。そして親が正しい知識を持って行う早期療育の必要性を強調されました。

一昨年、なんと私が本を出版することになりました。西高では二年に進級する際に、文系か理系の選択を迫られます。私は国語が大の苦手、常に成績の足を引っ張ってました。国語は何をどう勉強したらいいか分からなかったのです。ですから、私は迷うことなく理系を選択しました。よもやその私が、将来本を書くようになるのは想定外の出来事です。

その本のタイトルは『自閉症の画家が世界に羽ばたくまで』です。私達家族のこれまでの道のりを書きました。ここで私達家族のお話を少ししたいと思います。息子の赤ちゃん時期は発育はとも順調でした。しかし、一歳あたりから、目が合わない、あやしても笑わない、とにかく泣いて暴れてパニックを起こす。幸せだった夫婦生活が一変しました。息子嘉成は、重度の自閉症という発達障害を持っていたのです。医学的な治療法は確立されていませんが、私達親は、何かしてやれることはないのか、息子に合った適切な療育法を日本中探し回りました。

しかし、どこに相談しても「声かけしてあげなさい。」「嫌がるようなことや、泣くようなことは避けてしつかり遊んであげなさい。」などと言われるのです。今まで一生懸命関わってきたのに、これ以上どうすればと思いました。散々探した後、新居浜のトモニ療育センターの河島先生から、まさに目からウロコの説明を受けました。それは、自閉症は情緒の問題ではなく、脳の機能障害です。徹底した療育を要すること、

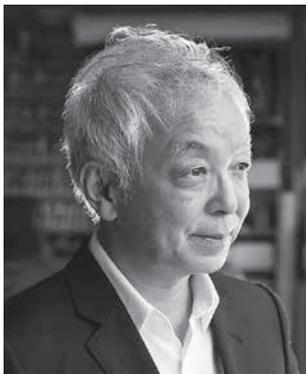
この説明に私達はどれだけ希望と光をみつけることができたか。今までどこへ行っても聞けなかった理論でした。こんな立派な先生と新居浜で出会えるとは想定外でした。私達夫婦は決して後悔しない子育てをしようと決めました。それからは息子との向き合い方を180度変え、泣いても暴れてもやるべきことはしっかりやらす。ことばの分からない息子に文字を教える。厳しい療育を信念を持って行ってきました。しかし、自閉症に起因する認知の障害を持つ息子に教えることは困難を極めます。親も子もストレスは並大抵ではありません。妻は自閉症の勉強から療育の実践まで一手に担ってくれました。そのおかげで息子は日常生活を獲得することができました。妻には感謝してもしきれません。

息子の将来に光が見え始めた小学三年生の頃、私達に悲劇が襲いかかります。妻にガンが見つかったのです。そして闘病もむなしく二年後の夏、他界してしまいました。妻四十歳でした。私は仕事をしながら、陰で妻を支えて(そう思っていました)いましたが、幸せのバランスが大きく崩れました。人生これからという時期で、健康とか病気とか考えていませんでしたので、まさに想定外の出来事でした。

私は息子の療育を一手に引き受けることになりました。亡妻の遺志を引き継ぎ、生活の自立に向けて厳しく育てました。何の落度もなく生まれてきた息子に、人間らしく生きていってほしいという願いから。

すると、そのうちに流れが変わり始めました。息子が県立高校に合格することができたのです。そこで出会った美術の先生が、息子に版画を勧めて下さり、翌年パリのコンクールで優秀賞を受賞しました。

二十歳になり、息子に自信を付けさせようとして初めての個展を地元で開催したところ来場者記録を塗りかえる程のお客様に来ていただきました。それ以降、個展や講演会、テレビ取材、何と来年は映画「青いライオン」になり上映されるのです。本当に人生何があるか分かりませんが、妻が亡くなったことだけは辛いですが、波瀾万丈な人生を楽しませてもらっています。この冊子が出る頃には、愛媛県美術館で息子のこの十年の集大成ともいえる展覧会を開催いたします。どうかこれまでで一番のうれしい想定外になりますように。



いしむら かずのり  
石村 和徳

### Profile

昭和54年 愛媛県立新居浜西高等学校普通科 卒業  
昭和54年 香川大学 経済学部経営学科 入学  
昭和59年 同 卒業  
イシムラミート株式会社 入社  
代表取締役として現在に至る  
平成25年 息子 石村嘉成が絵画制作を開始  
以降 そのプロデュースを行う

#### ■ 石村嘉成氏 受賞歴

平成25年 第2回新エコーロードパブリ浮世・絵展ドロワーイング部門 優秀賞  
平成28年 平成28年版環境白書表紙絵コンクール一般の部 環境大臣賞(最優秀賞)  
愛顔のえひめ賞 知事表彰  
全国障害者アート公募展「みんな北斎」 準大賞  
令和2年 第1回アートパラ深川大賞 特別賞



(息子さんと個展会場にて)

石村嘉成展 7/15(9/16)

# の歩み

## やるからには全力！

合唱部 3年 かいのう けんすけ  
戒能 賢介



私たち合唱部は「やるからには全力！」をモットーに3年生1人、2年生6人、1年生4人の計11人が顧問の永井先生、副顧問の堤先生のご指導の下日々練習に励んでいます。私たちの特徴は、何といっても伸の良さです。学年の垣根を越えて親交を深め、個性豊かな部員たちが集まる合唱部では毎日笑いが絶えません。

こんな私たちですが、これまで活動をする中で、一筋縄ではない出来事を数多く経験しました。中でも、新型コロナウイルス感染症の影響で、目標としていたコンクールやイベントなどでの発表の機会が奪われたり、開催されても無観客に変更されたりと、その都度その都度悔しく、もどかしく、やるせない思いをしてきました。

目標を見失い、ぼつかりと心に大きな穴が開きそうなこともありました。しかし、私たちは歌うことをやめませんでした。部活動ができる時間が制限されても歌い続け、つい気分が落ち込むコロナ禍だからこそ、マスクの下でも笑顔をやさず活動してきました。そして、このような経験をしたからこそ、毎日仲間たちと合唱することが決して当たり前ではないことや、日々の何気ない練習が幸せなのだと思えることができたのだと思います。

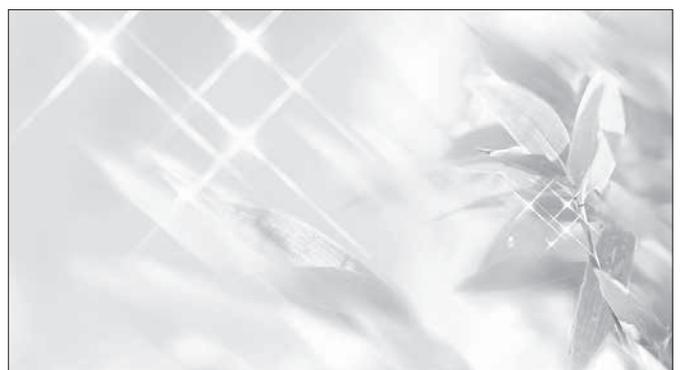
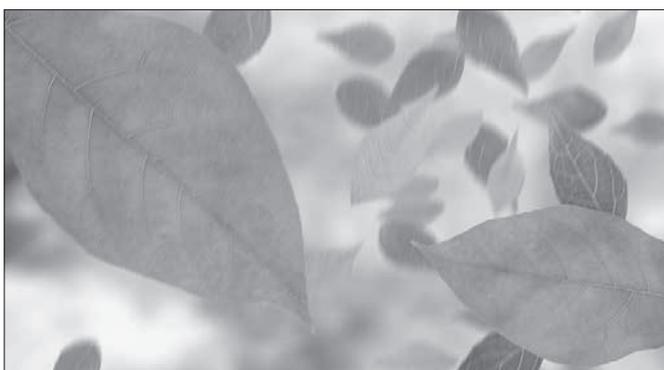
今、私たちが部活動に励むことができているのは、先の見えないコロナ禍においても長い時間をか

け、大会等の運営に尽力してくださった全ての方、いつも指導してくださる先生方、そして私たちの一番近くで支えてくれる家族や友人など本当に多くの方々のおかげです。このような方たちに感謝の気持ちを忘れず、私たちの演奏を通して感謝の思いを伝えることができるよう、これからも練習に取り組んでいきたいと思えます。

今年、私たちには大きな目標があります。私たちは、8月に開催される「第47回全国高等学校総合文化祭（2023かごしま総文）」に出場します。愛媛県の代表として、私たち新居浜西高合唱部が選ばれたことに恥じないよう、より一層練習に励みます。全国大会の舞台では、私たちなりの歌声で聴いてくださる全ての人に感動を与えることができるよう努力するとともに、この貴重な経験を通して一つでも多くのことを学び、吸収して帰ります。

### 出演予定

会場 鹿児島宝山ホール  
日時 8月4日(金) 午後より  
(詳しくは、ホームページにてお確かめください。)



# 部活動

## 飛躍

バドミントン部 3年 石川翔阿・森美羽



私たちバドミントン部は顧問の田坂先生、矢野先生、松本先生のご指導の下、3年生11人、2年生13人、1年生10人の計34人で仲良く楽しく活動しています。

バドミントンというスポーツは、ラケットでシャトルを打って相手のコートに落ちたら得点になるという単純なスポーツである反面、ラケットの向きが1ミリでもズレた瞬間、コートの外にシャトルが落ちてしまうようなとても繊細なスポーツでもあります。そのシャトルを打つ0.1秒ほどの瞬間に、自分の持っている力の全てを出し切るためにはどうすればよいのか？ 私たちはこのことに日々向き合っています。

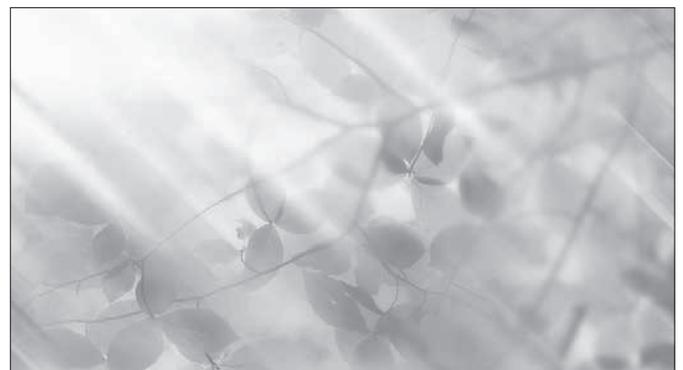
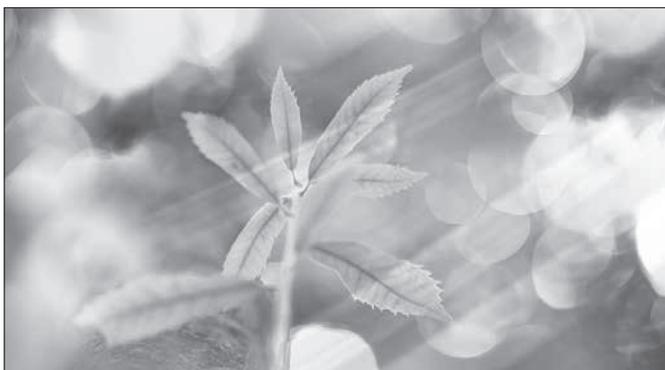
そんな私たちチームの一番の強みは「仲が良く団結力がある」とことです。私たちは先輩であつても後輩であつても、「負けたくない」という気持ちを一歩強く持ち、練習中は良きライバルとして、チームとして共に戦うときは大切な仲間として、学年の壁を越えて一つにまとめることができます。また、個性的なキャラクターを持つ部員が多く、常に部員の笑い声が絶えません。

そして、私たちがバドミントンを通して大切にしているのは『楽しむ』ことです。そのために私たちは常に声掛けをしています。練習前後の円陣やランニングの掛け声、打ち始めの声出しなど、「声掛けは仲間のために」という気持ちでお互いの心を鼓舞し、切磋琢磨しています。そのおかげで、どんなに苦しい練習でも力がみなぎり、

最後までやりきることで個々が、そしてチームが強くなることができます。

私が入部した頃はコロナの影響でマスクを着けての練習や練習時間の短縮、公式戦や練習試合の中止など様々な制限を受けながらの活動でした。思うように活動できない日々が長く続き、悔しい思いを何度も経験しました。バドミントン部に入部して3年目、ようやく自由な活動に戻りつつあります。そのような中で私たちバドミントン部は、男子は四国大会出場、女子はインターハイ出場と、それぞれが目指す最高の舞台に向けて一生懸命練習しています。

これまで私たちを支えてくれた先生方や保護者の皆さん、応援してくれている全ての人たちに私たちのプレーで恩返しをしたいです。そのためには、日々の練習の一つ一つをチーム全員で頑張っていきたいと思っています。





# 部活動結果報告

## 第77回愛媛県高等学校総合体育大会 結果

### 陸上競技、バドミントン、ウェイトリフティング インターハイへ

第77回愛媛県高等学校総合体育大会が、6月3日(土)～5日(月)まで3日間にわたり開催されました。本校からは総勢220名の選手が参加し、各会場において熱戦を繰り上げました。主な結果は以下の通り。

#### 【陸上競技】

##### 男子

800m	西野永遠	2位
(四国総体4位・インターハイ出場)		
800m	堀川京佑	8位
1500m	西野永遠	7位
5000m	塩崎駿斗	9位
5000m	竹本智耶	17位
3000mSC	古河友輔	2位
(四国総体5位・インターハイ出場)		
走幅跳	富永爽楽	19位
八種競技	成松泉輝	3位
(四国総体出場)		

##### 女子

トラック総合		8位
800m	鈴木心寧	4位
(四国総体5位・インターハイ出場)		
800m	山中友理香	7位
1500m	鈴木心寧	5位
(四国総体出場)		
3000m	鈴木来弥	19位
3000m	猪口桃香	20位
400mH	友澤結花	8位
5000mW	川村真由	出場
4×400mR	友澤結花・鈴木心寧 高尾明紗・山中友理香	6位 (四国総体出場)
走幅跳	高尾明紗	11位
三段跳	高尾明紗	7位
砲丸投	伊藤 梓	15位
円盤投	伊藤 梓	16位
ハンマー投	伊藤 梓	2位
(四国総体3位・インターハイ出場)		

#### 【バスケットボール】

##### 男子

1回戦	新居浜西	84-38	愛大附属
2回戦	新居浜西	61-86	松山東

##### 女子

1回戦	新居浜西	63-75	松山聖陵
-----	------	-------	------

#### 【バレーボール】

##### 男子

1回戦	新居浜西0 (16-25、9-25)	2三島
-----	--------------------	-----

##### 女子

1回戦	新居浜西2 (22-25、25-16、25-21)	1東温
2回戦	新居浜西0 (22-25、17-25)	2三島

#### 【バドミントン】

##### 男子団体

1回戦	新居浜西	3-0	松山北
2回戦	新居浜西	3-1	今西伯方
準々決勝	新居浜西	0-3	新田
(ベスト8)			

##### 女子団体

2回戦	新居浜西	3-0	弓削
準々決勝	新居浜西	3-0	松山北
準決勝	新居浜西	3-1	松山南

決勝	新居浜西	0-3	新田
(準優勝 四国総体3位)			

##### 女子個人ダブルス

鈴木菜夏・片岡優衣	優勝
(四国総体2回戦・インターハイ出場)	
宮崎花音・小倉 愛	1回戦
森 美羽・野村向菜	1回戦

##### 女子個人シングルス

鈴木菜夏	ベスト8
宮崎花音	1回戦
小倉 愛	1回戦
片岡優衣	1回戦
森 美羽	1回戦

#### 【卓球】

##### 男子団体

1回戦	新居浜西	3-0	松山東
2回戦	新居浜西	3-1	新田
3回戦	新居浜西	3-2	三島
準決勝	新居浜西	0-3	松山商業
ベスト4 (四国総体予選リーグ3位)			

##### 男子個人シングルス

越智琥珀	1回戦
矢可部陽生	1回戦
新山陽斗	6位 (四国総体2回戦)

##### 男子個人ダブルス

越智琥珀・矢可部陽生	1回戦
新山陽斗・越智琥珀	ベスト16

##### 女子団体

1回戦	新居浜西	1-3	東温
-----	------	-----	----

##### 女子個人シングルス

國峯美智	1回戦
------	-----

##### 女子個人ダブルス

國峯美智・伊藤 葵	2回戦
-----------	-----

#### 【ソフトテニス】

##### 男子団体

1回戦	新居浜西	3-0	川之石
2回戦	新居浜西	2-1	大洲
準々決勝	新居浜西	0-3	済美
ベスト8			

##### 男子個人

高須賀祥也・曾我部快斗	1回戦
-------------	-----

##### 女子団体

1回戦	新居浜西	1-2	東温
-----	------	-----	----

##### 女子個人

米里美春・渡邊りお	1回戦
三崎優香・中本希未	1回戦

#### 【ハンドボール】

##### 男子

1回戦	新居浜西	17-18	松山学院
-----	------	-------	------

#### 【剣道】

##### 男子団体

1回戦	新居浜西	2(2)-2(4)	松山聖陵
(本数負け)			

##### 男子個人

中川聡一郎	1回戦
石川煌汰	1回戦
田野岡明日翔	1回戦

##### 女子団体

1回戦	新居浜西	3(5)-2(3)	内子
2回戦	新居浜西	0(0)-4(6)	丹原

##### 女子個人

土岐初音	1回戦
------	-----

#### 【弓道】

男子団体 第13位 予選敗退

女子団体 第16位 予選敗退

男子個人 寺岡歩輝 予選敗退

女子個人 曾我有沙 予選敗退

#### 【創作ダンス】

テーマ「道化師の涙～閉ざされた心～」  
12位

#### 【テニス】

##### 男子団体

1回戦	新居浜西	0-3	大洲農業
-----	------	-----	------

##### 女子団体

1回戦	新居浜西	3-0	三崎
2回戦	新居浜西	1-2	松山北

##### 女子ダブルス

近藤珠母・石川陽毬	1回戦
-----------	-----

#### 【新体操】

ボール13位 クラブ20位 総合17位

矢葺希音

#### 【ウェイトリフティング女子】

秦萌々菜 64kg級 1位

スナッチ68kg、クリーン&ジャーク85kg、  
トータル153kg  
(四国総体・インターハイ出場)

#### 【ボクシング】

ウェルター級 高田成之介 2位

#### 【フェンシング】

男子フルール 山本逞真 予選7位  
決勝トーナメント1回戦

#### 【水泳】

100m自由形 金田浩聖 1位  
(四国総体出場)

200m自由形 金田浩聖 1位  
(四国総体出場)

100mバタフライ 福田英寿 8位  
(四国総体出場)

400m個人メドレー 白澤 航 4位  
(四国総体出場)

4×100mフリーリレー  
早田和広・金田浩聖・福田英寿・白澤 航  
4位 (四国総体出場)

4×100mメドレーリレー  
早田和広・金田浩聖・福田英寿・白澤 航  
3位 (四国総体出場)



●● 文化部 大会結果 ●●

放送、囲碁・将棋、合唱 全国大会へ

【放送】

第62回全国高等学校放送コンテスト  
朗読部門 村上かれん 優秀  
(第70回NHK杯全国高校放送コンテスト出場)  
アナウンス部門 山路結華 優良  
創作ラジオドラマ部門  
「放送部ってサイコー！」 優秀  
(第70回NHK杯全国高校放送コンテスト出場)  
創作テレビドラマ部門  
「転がる石に苔は生えぬ」 優秀  
(第70回NHK杯全国高校放送コンテスト出場)  
ラジオドキュメント部門  
「変わる」 優秀  
(第70回NHK杯全国高校放送コンテスト出場)  
テレビドキュメント部門  
「子供会の歩む道」 優秀  
(第70回NHK杯全国高校放送コンテスト出場)  
研究発表部門  
「新居浜の音」 優秀  
(第70回NHK杯全国高校放送コンテスト出場)

【囲碁・将棋】

第47回全国高等学校総合文化祭囲碁部門愛媛県大会  
男子個人戦  
細江康太 優勝  
(第47回全国高等学校総合文化祭鹿児島大会  
囲碁部門男子個人戦出場)  
高木 力 5位 前川裕也 7位  
交流戦  
伊集院里玖 1位 薦田修斗 2位  
横井 蓮 3位  
第47回全国高等学校総合文化祭将棋部門愛媛県大会  
男子団体戦  
新居浜西 A 2回戦  
(細江康太、前川裕也、高木 力)  
新居浜西 B 2回戦  
(伊集院里玖、喜井海登、山下琉空)  
第47回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会愛媛県大会  
男子個人戦  
細江康太 2位  
(第47回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会  
全国大会男子個人戦出場)

高木 力 6位 前川裕也 11位  
伊集院里玖 13位 横井 蓮 14位  
男子団体戦  
新居浜西 A  
(細江康太、前川裕也、高木 力)  
新居浜西 B  
(伊集院里玖、横井 蓮、薦田修斗)  
新居浜西 C  
(藤田晴波、山下琉空、好中陸翔、原田 晴)  
第1試合 新居浜西 A 不戦勝  
新居浜西 B 0-3 松山中央  
新居浜西 C 1-2 松山東  
第2試合 新居浜西 A 2-1 松山中央  
新居浜西 B 3-0 新居浜西 C  
第3試合 新居浜西 A 1-2 松山東  
新居浜西 B 不戦勝  
新居浜西 C 0-3 松山中央

【合唱】

第47回全国高等学校総合文化祭出場

●● 令和5年度全国高等学校定時制通信制体育大会愛媛県予選会 結果 ●●

陸上競技、卓球、バドミントン 全国大会へ

【陸上競技】

男子  
100m 神野瑞貴 4位  
200m 神野瑞貴 3位  
(全国大会出場)  
800m 伊藤脩汰 1位  
(全国大会出場)  
1500m 伊藤脩汰 1位  
(全国大会出場)  
走り幅跳び 伊藤脩汰 1位  
(全国大会出場)

【卓球】

男子団体 (リーグ戦) 2位  
新居浜西 3-2 松山南  
新居浜西 2-3 未来松山  
男子個人シングルス  
下西貴大 1位 (全国大会出場)  
南部隼門 1回戦 越智椋樹 2回戦  
佐藤雄大 2回戦 小野春樹 1回戦  
女子個人シングルス  
星田 愛 ベスト8  
幸田藍良 1回戦

【バドミントン】

男子個人ダブルス  
河村明日翔・田村海斗 1位  
(全国大会出場)  
森本佑希・山下達輝 2回戦  
男子個人シングルス  
高尾 新 2回戦  
女子個人ダブルス  
谷口結愛・森賀璃美 2位

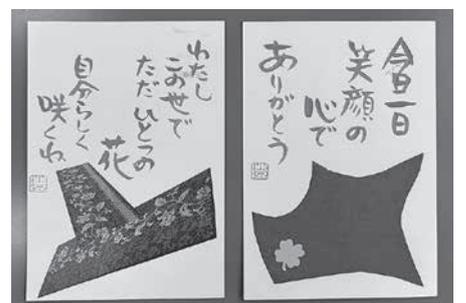
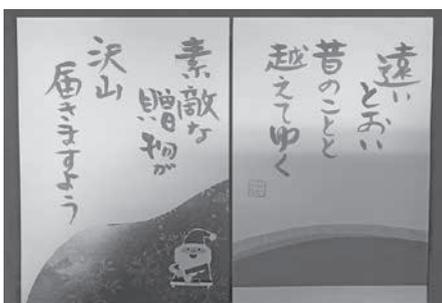
先輩からの贈りもの

「昭和38年3月定時制商業科の卒業生です。学生時代が人生で最も楽しかったと懐かしく思い出してお便りします。」

(原文のまま)  
昨年4月定時制職員室に届いたお手紙である。大阪市在住の同窓生藤田澄子さん、御年82歳から。

それから毎月藤田さんからの絵手紙が届くようになった。言葉は墨書で、絵は貼り絵を中心に描かれている。絵と言葉のバランスが絶妙だ。そこには優しさだけでなく、ユーモアやペーソスも漂う。決して平坦な道ばかりではなかったに違いない人生を慈しんでおられる。どんなことにも感謝を忘れない藤田さんの生き方は、若い後輩たちの背中を押して続けてくれるに違いない。次に絵手紙に添えられた言葉の一部を紹介しよう。

近道は間違いのもと傷のもと  
千里の道も一歩より始まる  
人生の答えを見つける式は無限  
過去に生きるのではなく今を生きる  
苦しい経験は人生の隠し味  
蒔いた種花ひらき喜び実を結ぶ  
私たちに必要なのは賢さよりも優しさ  
思いは花であり言葉は芽である  
影を見て自分の生きた道を知る  
心の内言葉に飾り絵を描く  
おしゃべりがあまり得意でない私  
また一歩転んで這って遠い道  
こんにちには円い心のごあいさつ  
歌いましょう優しい夢をやまとうた



## 新居浜の動き

Hello!  
NEW

# 新居浜

### 新居浜市総合運動公園 基本構想

新居浜市は、四国有数の工業都市として発展していますが、スポーツの盛んな町でもあり、西高からも、近年ウエイトリフティング競技において優秀な選手を輩出する等、様々な競技において、全国大会などで多くの市民が活躍しています。

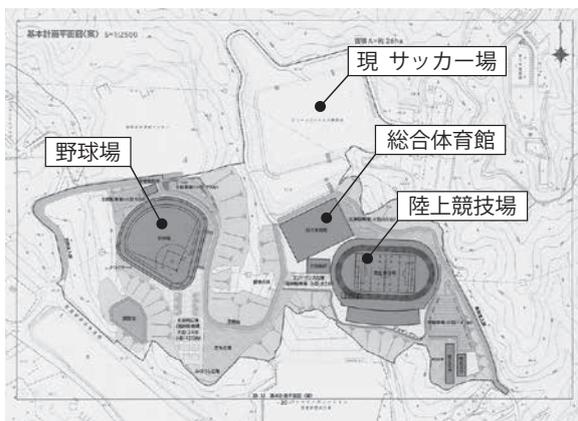
このような中、新居浜市では、市内に点在する野球場や体育館などの老朽化が進んでいることを踏まえ、今年3月に新居浜市総合運動公園基本構想が策定されました。

計画では、市民と共に育つ公園、憩いと潤いを感じられる公園、活躍・誇りの場としての公園、安心の象徴としての公園をコンセプトに、現在市営サッカー場がある観音原丘陵地が建設計画候補地に選定されました。

施設としては、全国大会が開催できる規模の総合体育館、弓道場、陸上競技場や野球場が主要な施設として計画され、今後具体的な建設に向けた取り組みが進められる予定です。

問合せ

スポーツ振興課  
☎0897-651-3003



これらの施設から未来のオリンピックの誕生を期待します

### 新居浜市市民文化センター 基本構想

新居浜市の文化芸術活動の拠点として中心的な役割を果たしている市民文化センターも、大ホールが昭和37年に、中ホールは昭和49年に建設されたもので、大ホールについては、目標耐用年数の65年が目前に迫っており、建物や設備の老朽化が進むとともに、毎年修繕を重ねながら利用されている状況です。

このような中、新たな市民文化センターの整備にあたってのコンセプトや基本的な方向性について定めた新居浜市市民文化センター基本構想が今年3月に策定されました。

計画によると、新たな建設地は、現在の市民文化センターのエリアに近隣の中央児童センターと中央公園を含んだ約24、

800㎡とし、大ホールを多層構造としホールとしても活用できる構造とするほか、生涯学習センターや児童センターを併設することが、計画されています。

なお、新市民文化センターの建設にあたっては、中ホールのある別館を利用しながら、令和10年度から既存施設の解体を含めた整備工事に着手し、令和13年度のオープンを目指しています。

問合せ

文化振興課  
☎0897-651-5554

### 子育て広場ポノ(企業連携型) 子育て拠点施設)オープン

4月28日子供たちと保護者がくつろげる「子育て広場」がイオンモール新居浜にオープンしました。

子育て広場とは、おむね3歳未満の親子などが気軽に集い、遊んだり、情報交換や交流をする場所です。仲間づくりのお手伝いや、子育ての不安や悩みについての相談もできます。

市内で、9か所目の施設としてオープンした「子育て広場ポノ」は、イオンモールでは、四国初となります。

商業施設内にあることで、土日祝日も利用できるため、利用がしやすいのももちろんのこと、カウンターに新居浜産材の檜が使われており、木のぬくもりにあふれた施設です。

また、「ポノ」の名前には、調和するという意味が込められており、利用されるみなさんのこころと体が気持ちよく調和され、バランスが取れる成長の一助となることを期待されます。

問合せ

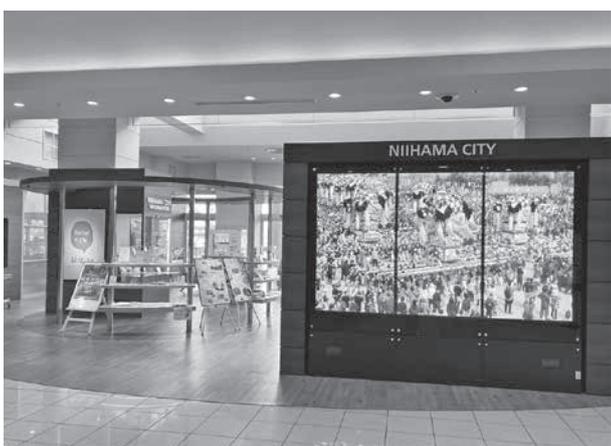
子育て支援課  
☎0897-651-2442

### 「NIHAMA CITY INFORMATION」 イオンモール新居浜にオープン

3月17日イオンモール新居浜に市の情報発信に特化した「NIHAMA CITY INFORMATION」ブースが開設されました。1階レストラン街にあるこのブースは、新居浜市とイオンモール新居浜の協働事業で新設されたもので、四国のイオンモールとしては、初めての試みとなるものです。約23㎡のブースには、シンボルとなる大型ビジョン(75インチ×3連)が設置され、市の観光情報やプロモーション映像が随時投影されるほか、観光や物産に関する展示や各種イベントなどの行政情報が発信される予定です。多くの方に新居浜市の魅力や文化を知ってもらうことが期待されています。

問合せ

シティプロモーション推進課  
☎0897-651-2251



いいところを多くの方に知ってもらえるといいですね



## いつまでも仲良く

おかの つよし  
岡野 剛士（昭和57年卒）

「音楽を選択すれば、新しい校舎に入れるらしいぞ」そう聞いて選択すると、一年C組だった。しかもC組のみ、鳩が同居する木造校舎で、ちよっとすね気味で高校生活をスタートさせたのを覚えている。

高校時代一番の思い出は、学校行事である。

一年生の夏休みに任意参加の赤石山系への登山があった。新居浜の鹿森ダムの手前から登山道に入り一泊して、金砂湖付近まで歩いた。結構ハードな登山だった。

夏休みの後期には運動会の応援練習。三年生の先輩の下、プールサイドで汗を流した。三年生が中心となり、運営する運動会では、厳しさを感じる中で、一糸乱れぬ演技が披露でき、大きな感動を覚えた。

二年生では、永平寺、黒部ダム、後楽園遊園地等の修学旅行。東京では夜更かしして、朝食時間に遅刻、岡田先生に叱られた。

三年生では、夏休み前から準備してみんなで作り上げた応援合戦。後輩の野球部のS君は、応援練習中にプールに突き落とされたというが、記憶にはない。運動会では色別の行進もあった。各色のリーダーが考えるマスのゲーム的な行進は他校にはない種目であった。

文化祭では、友人が、デイブ・パー

プルの「スモーク・オン・ザ・ウォーター」をバンド演奏した。でき映えは素晴らしく、友人の多彩な才能を楽しませてもらった。

当時の西高には「自由・自主」の気風が流れており、個性豊かな人材の宝庫であったように思う。今もその気風が受け継がれていることを願っている。

大学時代は、高校時代の友人といつも一緒にいた。休みになると、登戸、向ヶ丘遊園、三軒茶屋、新丸子、桜木町にある各人のアパートを転々としていた。電車の中、新居浜弁で騒いでいて、周りの乗客がいなくなったこともあった。ワンルームの部屋に六人から八人寝ることもよくあり、みんなで銭湯に行った。長期の休みには新居浜に帰省し、大阪、神戸、岡山、高知の友人も加わり、朝から晩まで一緒にいた。

あこがれの東京生活であったが、バブル絶頂期の派手な風潮、お金がすべての希薄な人間関係に嫌気がさした。渋谷のデイスコで靴がダサいと入場を断ってきた安全地帯みたいな髪型の黒服は今でも許せない。

「愛媛に帰ろう」と思い立ち、教員採用試験を受け県立学校保健体育科教諭に合格した。教員の大量採用



高校1年生 夏休み登山



令和4年11月 プチ同期会



平成28年 同期会

の年に受験し、人生最大の幸運を感じた。初任校は特別支援学校で、教育の原点を学んだ。若い教諭が多く、活気にあふれた四年間であった。二校目は大島高校、壬生川から家用車で今治港に行き、フェリーで大島まで渡った。転勤が決まり最後のフェリーで見た完成間近の来島大橋と夕日はとても綺麗だった。三校目からは新居浜の実家に帰ることができ、そこから通勤している。

社会人になると、高校時代の友人には頻繁に会えなくなったが、県外に就職した友人が帰省すると集合していた。この仲良しグループの集まりは、三十代後半からは、八月十五日、十二月三十日と日程も固定され、現在まで続いている。年二回、会えば必ず、昔話に花が咲く。同じ話を、二十回、三十回しても、毎回楽しい。風貌は変わっても、気持ちは、十代、二十代に戻る。四十代からはゴルフコン

全体での同期会は、高校卒業以来、なかなか実施できなかったが、平成二十八年にやっと開催できた。たくさん同期生が集まり、とても盛り上がった。それ以来、同期生の輪が広がり、いろいろなメンバーでの集まりに呼ばれ、楽しみが増えた。

コロナ禍で、そんな楽しみも一挙にしぼんでしまったが、これからはどんどん取り戻していくつもりだ。第二回の同期会も計画されている。還暦を迎えても「いつまでも仲良く」同期生ライフを満喫したい。

# 本部だより

## 藤棚と石のテーブル

今回は記念会館南にある立派な藤棚をご紹介します。毎年新緑のころになると、若葉が生い茂り藤の花弁がその中に埋もれるように咲いていきましたが、今年は例年になく花房が長く垂れて美しく、蜂が蜜を求めて飛び交い、その葉は初夏の暑い日差しを遮ってくれています。花言葉は「歓迎」。

藤棚の下には、石のテーブルと8脚のイス。これは平成6年度の卒業記念に設置されたものです。初めて見た時は『重厚感溢れる石のテーブルとイス』に迫力を感じましたが、今ではあたりの風景に溶け込み、生徒たちの憩いの場となっています。一度足を運んでみませんか。



## 令和5年度 総会および懇親会のご案内

日時 令和5年8月5日(土)  
 総会および懇親会  
 受付 17:30 ~ / 時間 18:00 ~ 20:30  
 場所 レイグラッツェふじ  
 新居浜市高木町3-2 TEL 0897-34-2211  
 会費 5,000円(一般会員)  
 2,500円(平成28年以降卒業会員)

※申し込みは、7月末日までをお願いします。

ご不明点などがありましたら、事務局へお問い合わせください。

4年振りとなる樟樹会総会・懇親会が、レイグラッツェふじで開催されることとなりました。以前のような賑やかな会が開催されることを願っております。会員の皆様のご協力、ご支援を賜りますようお願いいたします。

## 令和5年度 樟樹会事業計画(案)

月日	会合名	事業内容
3月24日	樟樹編集委員会	「樟樹」34号 印刷所承認・概要相談
4月10日	会計監査	令和4年度 会計帳簿類
4月17日	樟樹編集委員会	「樟樹」34号 原稿依頼先および担当者決定
4月21日	第一回執行役員会	令和4年度 事業報告案 令和4年度 会計決算監査報告案 令和5年度 事業計画案 令和5年度 予算案 役員変更 同窓会入会記念品と同窓会賞について 総会・懇親会開催について その他
5月8日	樟樹編集委員会	原稿持寄り・ページ構成・レイアウト打合せ
5月15日	第一回理事会	第一回執行役員会と同内容
5月22日	樟樹編集委員会	前回分校正・第2次原稿持寄り
5月29日	樟樹編集委員会	校正
5月31日	第二回執行役員会	総会・懇親会開催準備について その他
6月4日	東日本樟樹会	総会・懇親会開催
6月8日	樟樹編集委員会	最終校正
6月15日	西高祭支援	チャリティーバザー模擬店にて西高どら焼き販売バザー収益金を生徒会へ贈呈
6月19日	第三回執行役員会	第三回執行役員会と同内容
7月15日		「樟樹」34号発行
8月5日	総会・懇親会	活動報告と意見交換
10月22日	近畿くすのき会	総会・懇親会開催
1月下旬	第四回執行役員会	令和5年度の反省および令和6年度の予定その他
2月上旬	第二回理事会	第三回執行役員会と同内容
2月29日	同窓会入会式	新会員へ入会記念品贈呈
3月1日	同窓会賞授与50年目の卒業式	卒業式にて授与(全日制 定時制 若干名)50年前(昭和49年)の卒業会員を招待
備考	くすのき文庫 松山樟樹会	文庫本贈呈 総会・懇親会は、令和6年11月頃開催予定

## 令和4年度 樟樹会一般会計収支決算書

令和4年4月1日～令和5年3月31日

項目	4年度予算額	4年度決算額	備考
前年度繰越金	3,309,437	3,309,437	
収入の部			
入会金(全日制)	2,669,700	2,603,700	789人×3,300円
入会金(定時制)	108,900	108,900	11人×9,900円
運営会費	1,000,000	528,000	158件 1口 3,000円から
賛助会費	500,000	500,000	42件 1口10,000円から
雑収入	10,000	312,782	会員名簿発行還元金・販売代金・預金利息
収入合計	7,598,037	7,362,819	
支出の部			
会合費	400,000	0	
慶弔費	50,000	20,000	饗別
人件費	1,440,000	1,440,000	賃金
事務費	100,000	39,160	事務機器の保守点検契約料他
同窓会賞	20,000	16,500	全日制2名 定時制1名
入会祝	350,000	281,578	全日制・定時制 卒業生へ記念品
支部活動費	120,000	116,000	各支部行事への参加他
旅費	100,000	90,000	各支部行事への参加に掛かる旅費
生徒への補助金	500,000	290,000	全国大会出場補助
その他の事業費	200,000	163,138	高校野球大会広告料 くすのき文庫に文庫本贈呈 50年目の卒業式(中止告知) 郵送経費
通信費	250,000	182,042	電話代 郵送切手・葉書代
広報活動費	250,000	225,270	会誌「樟樹」購入費(事務局分)
ホームページ作成費	300,000	0	ホームページリニューアル
雑費・予備費	150,000	180,429	振替加入口座手数料負担他
周年事業積立金	500,000	500,000	特別会計へ(6回目)
次年度繰越金	2,868,037	3,818,702	(現金) 20,000 伊予銀行(普通預金) 2,803,865 ゆうちょ銀行(加入口座) 994,837
支出合計	7,598,037	7,362,819	

# きよだより

## 東日本樟樹会

### 第15回東日本樟樹会総会・懇親会

東日本樟樹会の第15回総会・懇親会は6月4日(日)、4年ぶりに東京都千代田区「アルカディア市ヶ谷」で開催されました。来賓として同窓会本部から妹尾樟樹会会長と今井副会長及び畑田顧問をお招きし、総勢59名、昭和21年から平成20年卒まで幅広い年次の同窓生が出席しました。

井上会長の開会挨拶の後、幹事会事務局より令和元年から4年度までの収支報告が行われ、全会一致で承認されました。続く来賓の妹尾会長からはコロナ明けの樟樹会本部の活動についてのご報告がありました。

昭和38年卒業野様のご発声で始まった懇親会では、高校総体応援でお越しになれなかった日野校長先生からのご挨拶文とビデオメッセージで西高の近況をお伝えいただき、出席者の好評を得ました。後半には抽選会で地元産の賞品(パン豆、西高どら焼き)などが配られた後、亀岡幹事の閉会挨拶で締めくくりました。



次回は来年6月2日(日)に同会場「アルカディア市ヶ谷」で第16回総会・懇親会を開催する予定です。

白石 知己(昭和54年卒)

## 近畿くすのき会

### 第26回近畿くすのき会総会・懇親会

令和4年10月29日(土)、大阪第一ホテルで第26回近畿くすのき会の総会と懇親会を開催しました。来賓として樟樹会本部より妹尾会長、母校の願成寺校長をお招きし、総勢45名の賑やかな同窓会となりました。コロナ禍の中、参加した会員は久しぶりの再会に喜びをかみしめ、旧交を温めました。

総会では、曾我会長が新体制から1年、コロナ禍で会員相互の交流が思うように進められないうち、立ち上げた「愛媛美食探訪クラブ」や、メルマガで定期的な情報発信し始めたことを報告し、会員の参加を呼び掛けました。総会に続き、株式会社エイチ・ツー・オー商業開発代表取締役社長の今井康博さん(昭和57年卒)に「愛ある経営、意志ある経営」をテーマに講演して頂きました。



令和5年2月末には西高同窓会入会式に合わせ、初めて「近畿くすのき会」のPRチラシを作成し、樟樹会事務局のお力添えで卒業生全員に配布しました。

令和5年の総会・懇親会は、10月22日(日)にホテルグランヴィア大阪で開催を計画しています。お互い元気な笑顔で再会できることを祈念しています。

常任幹事 入江 智美(昭和58年卒)

## 松山樟樹会

### 第13回 松山樟樹会総会・懇親会

松山樟樹会第13回総会は、2022年11月19日(土)東京第一ホテル松山で開催し、37名が参加しました。コロナ禍が落ち着き、3年ぶりの開催でした。

総会は、17時から始まり、加藤弘正会長(52年卒)の挨拶の後、妹尾樟樹会会長からコロナ禍後の近況報告と、これからのに向けてのお話がありました。その後、議事に移り、会計報告等、承認されました。



17時半から、52年卒の藤田達生氏に「信長の軍事革命」をテーマに、講演をして頂きました。熱く楽しいお話で、参加会員の皆様は、熱心に聞いていました。

全員で記念撮影後、恒例の太鼓台のDVDが流れる中、福徳マリ子氏(51年卒)による元気な司会のもと、近畿くすのき会 曾我浩会長も参加され、近況報告を頂きました。高田健司副会長(49年卒)の乾杯の音頭で懇親会が始まり、お互いに近況報告をしながら、楽しい時間を過ごしました。最後に、新居浜西高校校歌斉唱後、加藤令史副会長(51年卒)により、懇親会を締めくくりました。

次回は、2年後(令和6年11月)に開催する予定です。中予地区にお住いの同窓の皆様はぜひご参加ください。

会長 加藤 弘正(昭和52年卒)

# 同期会俵り

## 第9回新居浜西高49年卒業生同期会

加地 由照(昭和49年卒)

2022年10月15日に、ゴルフコンペのあとマリナーパーク新居浜で、同期会を開催しました。

オリンピックの年ごとに同期会を開こうという決まりも、コロナ禍で延期となり、今回やっと有志30名が集まることが出来ました。

開会あいさつの後、各自の近況報告などで大いに盛り上がりました。

二次会、三次会と思い出話は尽きることなく、楽しい一夜を過ごしました。今後、関東・近畿・新居浜に拠点幹事などを設けて同期会を開催する予定です。そのためにホームページを立ち上げました。



同期生のホームページへは、このQRコードから →

# 37会同期会 傘寿を祝う

樟樹編集委員会

38年卒の同期会が、令和5年5月10日、リーガロイヤルホテル新居浜で開催された。新居浜西高校を卒業して早60年、全国各地から57名が結集した。なんと御年90歳の恩師、関 浩二先生も参加してくださった。関先生にとつて、1、2、3年と持ち上がり最も印象に残っている学年で、この会へはいつも参加しているとのこと。ちなみに関先生は数学の先生。

開会の1時間前から続々とメンバーが集まる受付で再会を喜ぶ声が。一瞬で昔に戻りあちこちで語らいが始まる。東日本樟樹会会長の井上六郎氏をはじめ、遠来の参加者も多数おられた。

まずは全員で写真撮影から。開会を高橋勲さんが告げる。桑原征一会長のあいさつ、関先生のあいさつ、高橋弘隆さんの音頭で乾杯。美味しいごちそうと、楽しいお話に笑顔がはじける。

アトラクションの時間。初めは日本一にも輝いた星川千代洋さんによる尺八演奏、曲名は「ひとみ」、心に沁みわたる音色にうっとりした。

続いて現役西高生、近藤環さんによるバイオリン演奏。曲名は「アニーローリー」とサン・サーンズの「動物の謝肉祭より、白鳥」。環さんのお父様もチェロで賛助出演。



親子共演の美しい響きに心がふるえた。ふるさと新居浜で最高のひと時を過ごすて欲しい

と、心を尽くし準備を進めた佐野さんや松井さんを中心とした女性陣たち。皆さんとてもチャームングで活動的だ。精一杯のおもてなしに同期生たちの信頼や友情はさらに深まった。

とにもかくにも楽しい夜は更けていく。今回の同期会で一区切りとおっしゃる佐野さん、いやいやまだまだ続くでしょう。これからもどうぞお元気で。

「私たちの集い」記念同期会

山川 陽 美 (令和3年卒)



令和5年1月9日、リーガロイヤルホテル新居浜にて、令和3年卒業生の第1回同期会を開催しました。当日は、約150名の同期生に加えてお世話になった先生もお迎えし、大変にぎやかな会となりました。このように大勢で顔を合わせるのには、西高を卒業して以来2年ぶりで、はじめはお互いに少し緊張していました。しかし、高校

時代の思い出話や、近況の話でだんだんと盛り上がり、会場はあの頃に帰ったかのようでした。

西高生活を振り返ると、やはり新型コロナウイルスの流行が始まった高校3年生の頃を一番に思い出します。そのころの世の中は、マスクの常時着用や行動の制限など、人との交流が激減し、全体的に不安に覆われていました。高校生活においても、少人数での授業や行事の制限に戸惑い、悩むこともありました。しかし、なんだかんだ言うものの、友人や先生とのつながりのおかげで楽しい高校生活になったと思います。

また、自由に活動できるようになった今になって当時を振り返ると、ようやくここまで活動が戻ってきたことに感慨深いものがあります。学生時代にコロナ禍を過ごした者たちとして、人とのつながりを大切にしながら生きていきたいと思います。

今後、私たちはまたそれぞれの道に進みますが、再びみんなで集い、親交を深め続けていきたいです。最後になりましたが、このたびの開催につきましてご尽力いただきました各々の方々に感謝申し上げます。



## 編集後記

コロナ禍も落ち着き日常が帰ってきたと実感する毎日です。学校行事も復活し元気な生徒たちの声が同窓会事務局へも届くようになりました。

皆様お変わりございませんか。今年も皆様と母校をつなぐ会誌『樟樹』が出来上がりました。後輩たちの活躍を想像し母校の今と昔を比べ、昔を懐かしんでいたただけから幸いです。これからは同期会もどんどん開かれることでしょうか。同期会だよりへの投稿もお待ちしております。

同窓生紹介に登場していただいた、石村氏と森賀氏からはそれぞれ著作の寄贈がありました。石村氏の文章の中にありましたように、ご子息の嘉成さんの個展が7月15日から愛媛県立美術館で開催されます。ちょうどこの会誌の発行日からです。

ここ四国では梅雨入りが例年よりちよつぱり早く、編集委員会の夜は雨の日が多かったような気がします。

五月雨や同窓会誌校了す  
これからもどうぞお元気で過ごしてください。そして同窓会誌『樟樹』をよろしく  
お願い申し上げます。

委員長 石川美千子 (昭47普)

委員 武田 信之 (昭28普) 安藤 寛和 (昭58普)  
近藤 司 (昭42普) 織田 文生 (昭60普)  
近藤 博司 (昭44普) 越智 孝司 (平2普)  
畑田 雅敏 (昭44普) 清水 靖二 (平4普)  
鴉 裕子 (昭49普) 永井 瑞樹 (平13普)  
妹尾 次郎 (昭55普) 鈴木 雅大 (平16普)

発行所 樟樹会

〒792-0024

新居浜市宮西町4-46

TEL 0897-3214331

FAX 0897-3214331

発行者

妹尾 次郎

編集者

石川美千子

印刷所

株式会社サラト

発行日

令和5年7月15日

表紙題字：檜崎 一光老師  
表紙写真：大久保直幸氏 (昭和44年卒)

